

安全データシート

改訂日: 2022年9月5日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途

よう素酸カリウム溶液
試験研究用
*このSDSが適用する製品名は別表1を参照。
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
HC0133S

会社名
住所
電話番号

整理番号

別表1. 当SDSの適用品名一覧

0.05mol/Lよう素酸カリウム溶液
1/24mol/Lよう素酸カリウム溶液
0.025mol/Lよう素酸カリウム溶液
1/60 (N/10)mol/L よう素酸カリウム溶液
1/120 (N/20) よう素酸カリウム溶液

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性
ラベル要素
絵表示又はシンボル

よう素酸カリウム単体としての分類
急性毒性(経口): 区分4



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告
飲込むと有害
【安全対策】
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
【応急措置】
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

*各濃度溶液におけるGHS分類はラベルを参照。
*取扱い製品(水溶液)の中で最も濃度の高い0.05mol/L(1.1%)溶液の急性毒性(経口)は区分外であり、対これらのGHS区分は全ての項目において、「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」となる。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

混合物
よう素酸カリウム水溶液
KIO₃ [よう素酸カリウム]
CAS RN: 7758-05-6 [よう素酸カリウム]
①よう素酸カリウム ②水 *各濃度は別表2を参照
(1)-440 [よう素酸カリウム]
該当情報なし。

別表2. 成分及び含有量

表示濃度	成分①	※1 含有量	成分②	含有量(重量%)
0.05mol/L	よう素酸カリウム (CAS No. 7758-05-6)	1.1%	水 (CAS No. 7732-18-5)	残り
1/24mol/L		0.89%		
0.025mol/L		0.54%		
1/60mol/L		0.36%		
1/120mol/L		0.18%		

※1) 労働安全衛生法(通知物質):1%以上が該当。
製造はよう素酸カリウム(CAS No.7758-05-6)を水に溶解しています。

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は医師に連絡すること。
水と石鹼で洗うこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合: 医師に連絡すること。
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
特有の消火方法
消火を行う者の保護

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
該当情報なし。
該当情報なし。
周辺の火災に適した消火活動を行う。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

適切な個人用保護具を着用する。

河川等に排出され環境への影響を起ささないように注意する。

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

消防法の規定に従う。

安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取り扱い後はよく手と眼を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全な保管条件

消防法の規定に従う。

安全な容器包装材料

施錠して保管すること。

ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度

未設定

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

無色澄明

臭い

無臭

融点/凝固点

該当情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

該当情報なし。

燃焼性

対象外(液体)

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

不燃性

引火点

不燃性

自然発火温度

該当情報なし。

分解温度

該当情報なし。

pH

該当情報なし。

動粘性率(粘度)

該当情報なし。

溶解度

該当情報なし。

n-オクタノール/水分係数

該当情報なし。

蒸気圧

該当情報なし。

密度及び/又は相対密度

該当情報なし。

相対ガス密度

該当情報なし。

蒸発速度

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性

該当情報なし。

避けるべき条件

該当情報なし。

混触危険物質

該当情報なし。

危険有害な分解生成物

該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : **よう素酸カリウムの情報**
マウスLD50値: 531、1177 mg/kg bw(JECFA FAO NMRS 40A,B,C (1966))。(GHS分類: 区分4)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

該当情報なし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

該当情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器: 該当情報なし。

皮膚 : ヨウ素ないしその化合物として、日本産業衛生学会では皮膚感作性第2群としているが、すべての物質が同定されるわけではない(産衛学会勧告(2010))。(GHS分類: データがなく分類できない。)

生殖細胞変異原性

該当情報なし。

発がん性

該当情報なし。

生殖毒性

該当情報なし。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

該当情報なし。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

マウスに100日間飲水投与した試験において0.05-0.6mg/kg/dayの投与量で甲状腺重量、濾胞細胞および濾胞細胞腔への影響が認められた(GICAD 72 (2009))との報告があるが、使用動物数、影響の程度等の記載が無く詳細不明である。(GHS分類:データ不足で分類できない。)該当情報なし。

誤えん有害性

12. 環境影響情報

生態毒性

短期: 該当情報なし。

(急性)

長期: 該当情報なし。

(慢性)

残留性・分解性

該当情報なし。

生体蓄積性

該当情報なし。

土壌中の移動性

該当情報なし。

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

—

品名(国連輸送名)

—

国連分類

—

容器等級

—

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にする。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[沃化物(よう素酸カリウム)(濃度1%未満のものを除く)]

危険性又は有害性を調査すべき物[沃化物(よう素酸カリウム)(濃度1%未満のものを除く)]

消防法

危険物に該当しない。

別表3. 法規制該当非一覧

品名 (表示濃度)	含有量 (重量%)	労働安全衛生法	
		名称等を表示すべき有害物	名称等を通知すべき有害物
0.05mol/L	1.1%	該当	該当
1/24mol/L	0.89%	非該当	非該当
0.025mol/L	0.54%	非該当	非該当
1/60mol/L	0.36%	非該当	非該当
1/120mol/L	0.18%	非該当	非該当

16. その他の情報

引用文献

職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。